

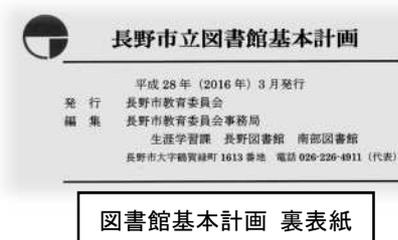
図書館基本計画について

1 現行計画

現行の図書館基本計画は、平成 28 年 3 月に策定し、図書館活動評価の基準となる指標と、平成 33 年度（令和 3 年度）の数値目標を設定しています。



図書館基本計画 A4 版 62 頁



図書館基本計画 裏表紙

4-5-4 図書館活動の適切な評価

図書館活動評価の基準となる指標と平成 33 年度の数値目標を設定します。

年度毎の結果を途中経過として毎年公表し、目標年度における数値目標達成を目指します。また、図書館の利用者等に対し、定期的に満足度等のアンケートを実施します。

【具体的取り組み】

施策	概要
指標と数値目標の設定	適切な指標と平成 33 年度の数値目標を設定する。毎年途中経過を公表する。
利用者アンケート及びまちづくりアンケートの実施	定期的を実施し、総合的に、利用者の満足度を調査する。

● 数値目標

指標	現状 (H26)	数値目標 (H33)
登録率	16.1%	30.0%
1 日当たりの入館者数（長野図書館）	1,176 人	1,250 人
関係機関等との連携による事業数	0	10
読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	30	50
レファレンス受付数	5,131	6,000
国立国会図書館レファレンス協同データベース登録数	801	1,000
地域課題に対応する企画展の開催数	0	5
青少年向け事業の企画数	0	5
高齢者向け事業の企画数	0	5
独自研修プログラムの講座数	0	5
各種データベースへのアクセス時間	2,915h	6,000h

図書館基本計画 35～36 頁

2 次期計画について

現行計画は、令和 3 年度で満期となりますが、令和 4 年度以降の次期計画については、次の主な理由により、策定を当面の間、見合わせを考えています。

【主な理由】

- (1) 図書館を管理するシステム等の ICT 化や図書の電子書籍化など、図書館を取り巻く環境の変化が著しいため。
- (2) 長野市公共施設マネジメントにおいて、両図書館建物の長寿命化、集約化、複合化等の方向性が未確定であるため。

3 今後の対応について

現行計画での数値目標については、令和 2 年度現在においても未達成のものが見受けられるため、当面（次期策定まで）の間は、現行の数値目標を基に取り組みたいと考えています。

◆ 令和2年7月17日(金)開催の会議資料(抜粋)

長野市立図書館基本計画		指標と数値目標		
指標	現状 (平成26年度)	平成30年度	令和元年度	数値目標 (令和3年度)
登録率	16.1%	15.0%	14.9%	30.0%
1日当たりの入館者数 (長野図書館)	1,176人	1,174人	1,104人	1,250人
関係機関等との連携による 事業数	0	6	4	10
読みがたり・朗読ボランティア 養成講座参加者数	30人	89人	102人	50人
レファレンス受付数	5,131	2,686	2,187	6,000
国立国会図書館レファレンス 協同データベース登録数	801	887	914	1,000
地域課題に対応する企画展 の開催数	0	4	4	5
青少年向け事業の企画数	0	5	5	5
高齢者向け事業の企画数	0	4	5	5
独自研修プログラムの講座数	0	2	2	5
各種データベースへのアクセ ス時間(分)	2,915	5,141	4,572	6,000